

俳句・川柳 作者名 一覧

フォト五七五二本松

順不動

米俣安 それでも里の 雪は解け  
(べいかやすそれでもさとゆきはとけ)

季語 雪解け 春 官野てつ(哲)

傘を持つ人待つ地蔵桜かな  
(かさをもつひとまちじぞうさくらかな)

季語 桜 春 安のり(野里安雄)

誕生会四月生まれは我一人  
(たんじょうえしがつうまれはわれひとり)

季語 四月 春 幸道(花房幸道)

若葉風我が飲み水の空の色  
(わかばかぜわがのみみずのそらのいろ)

季語 若葉 夏 かつに(安齋克仁)

草刈機蛍ぶくろを残しけり  
(くさかりきほたるぶくろをのこしけり)

季語 蛍袋 夏 ゆり子(野里ゆり子)

安達太良山の乗り行く白き日傘かな  
(あだたらののりゆくしろきひがさかな)

季語 日傘 夏 かつに(安齋克仁)

三味線草風吹くままに撥ならず  
(しゃみせんそうかぜふくままにばちならす)

季語 三味線草 夏 ゆり子(野里ゆり子)

三味線草Ⅱペンペン草

佳き事も一つや二つ桐の花  
(よきこともひとつや二つきりのはな)

季語 桐の花 夏 ふみお(古山文雄)

ばちさばき心一つに夏祭り  
(ばちさばきこころひとつになつまつり)

季語 夏祭り 安のり(野里安雄)

初孫が 茶の間の数字 独り占め  
(はつまごがちやのまのすうじひとりじめ)

官野てつ(官野哲)

コスモスを纏ふや山の喫茶店  
(こすもすをまとうややまのきつさてん)

季語 コスモス 幸道(花房幸道)

秋麗 ロンドンバスに吾子の声  
(あきうららろんばんすにわがこゑ)

季語 秋麗 ゆり(野里ゆりこ)

裏へ

秋うららあなたと同じ夢のなか

(あきうららあなたとおなじゆめのなか)

季語

秋うらら

安のり (野里安雄)

飾る物無くて降り立つ冬の駅

(かざるものなくておりたつふゆのえき)

季語

冬

ふみお (古山文雄)